



ENDURANCE

hi-POWER F.I.B PRO

取扱説明書

ED30400-K26-A01

このたびは本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読してください。
- 作業中は本書を手元の置き、指示に従って作業を進めてください。
- 本書は商品を廃棄するまで確実に保管してください。

ご使用の前に必ずお読みください。

- 本商品はレース用部品ですので一般公道での走行は絶対に行なわないでください。
- 本書は、国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、信頼のおけるお店に取り付けを依頼してください。
- 本書は、取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
本商品を取り付ける場合は、図を参考に作業をしてください。
- 弊社の指定する部品以外を使用した場合、本来の性能を発揮することが難しくなります。
- 本商品は下記適合車種の専用商品です。他車種には取り付けることはできません。
- 本商品には回転リミッターを解除する機能がありますが、回転リミッターを解除した際のエンジンの耐久性を保障するものではありません。
- 各部品の個体差や外的要因（気象条件や乗車する人の体格など）で弊社の意図するセッティングが出ない可能性もあります。
- 本商品は弊社製ボアアップKITまたはカムシャフトKIT用に燃料を最適化したものであり、全てのエンジン仕様において必ずしも完全なセッティングが出せることを保証するものではありません。
- ボアアップKIT装着時のガソリンはハイオクガソリンです。
- 本商品は防水・防滴構造ではありません。雨の日や洗車時には本体に水がかからないようにご注意ください。
- 大変危険ですので、分解、改造などは絶対にしないでください。
- 社外品の電装部品（H.I.D.、点火装置など）は、ノイズによる誤作動や故障の原因になりますので使用しないでください。
- オフロード走行やジャンプなどの本商品に強い衝撃が加わることは行わないでください。



危険

：怠ると怪我・事故につながる注意事項を示してあります。



注意

：怠ると部品の損傷などにつながる注意事項を示してあります。

参考

：スムーズに作業を進めるうえでのポイントや参考となる事項を示してあります。

●適合車種 GROM(JC61) 弊社製ボアアップKITまたはカムシャフト組み込み済車両

※上記以外の車種には絶対に使用しないでください。



ENDURANCE

hi-POWER F.I.B PRO

ED30400-K26-A01

安全上の注意事項

ご使用になる前に必ずお読みください。

取扱説明書は商品を破棄されるまでお手元に保管してください。



警告

- 1. 国家検定整備士資格が無い方は作業を行わないこと。**
技術・知識不足等によるトラブルでの部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 2. 指定車両以外へのパーツ装着の禁止。**
商品機能を損なう取り付け不良により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 3. 商品の分解・加工・改造の禁止。**
商品の機能が損なわれ、故障等により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 4. エンジンオイルはHONDA純正オイルを使用すること。**
指定以外のエンジンオイルを使用しますと、エンジンを破損させる場合があります。
- 5. 組み立て時に指示指定以外の加工・改造は行わないこと。**
破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 6. 指定商品との組み合わせ以外での組み立ては行わないこと。**
破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 7. 各取り付けボルト及びナットは、必ず走行前に締め付けの確認をしてください。**
ボルト及びナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や死亡事故につながる恐れがあります。
- 8. 商品梱包のビニール袋は、子供や幼児の手の届かない所に片付けるか、廃棄処分すること。**
子供や幼児がかぶったり、吸い込んだりすると、窒息する恐れがあります。
- 8. エンジン始動の際は、排気の良い所で行うこと。**
排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- 9. エンジンが完全に冷えてから作業をすること。**
エンジン回転中や停止後はしばらくの間エンジン及びマフラーは高温になっています。
 - ・近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないこと。
火災の原因になります。
 - ・絶対に人や動物等が触れない場所に止めること。
怪我や死亡事故につながる恐れがあります。



注意

- 1. 作業の際は必ず水平な場所で車体を安定させること。**作業中に車体は倒れて怪我をする恐れがあります。
- 2. メンテナンスを頻繁に行うこと。**トラブルを未然に防ぐため、定期点検を行ってください。
- 3. オイルの量をこまめにチェックをすること。**トラブルを未然に防ぐため、定期点検を行ってください。



注意

慣らし運転中は、急発進・急加速などの重負荷の掛かる走行は行わないでください。

■慣らし運転終了後、エンジンオイルの交換と、異音等が無いことを確認します。
異音がでている場合は、再度エンジンを点検します。

参考

エンジンオイルは、本書指定 HONDA 純正オイルウルトラG1をご使用ください。

取り付けの際には、他のパーツとの干渉等を充分確認のうえ作業を行ってください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※本商品はレース用部品ですので、一切の保証はお受けできませんのであらかじめご了承ください。

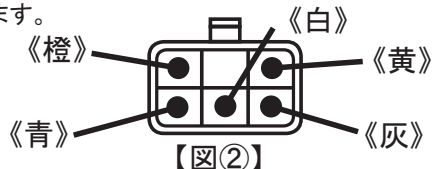
交換・工賃を含む一切の費用も保証はお受けできませんのであらかじめご了承ください。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認のうえご使用ください。

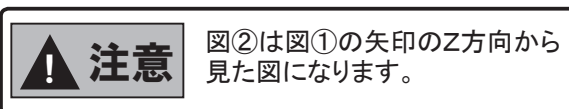
※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

8. 本商品に付属している《灰》《白》《橙》《青》《黄》線に圧着されている平型端子を同様に付属している6Pカプラーに図②のように、差し込みます。



【図②】



9. F.I.B. PRO 本体から出ている《赤》線と先ほど加工した商品に付属している《赤》線をギボシ端子で圧着して、それぞれを接続します。同様に、本体から出ている《黒》線と先ほど加工した商品に付属している《黒》線をギボシ端子で圧着して、それぞれを接続します。
※図①を参照してください。
10. F.I.B. PRO 本体から出ている6Pカプラーと先ほど加工したカプラーを接続し、それぞれ圧着が終わっているギボシ端子を図①を参照にして接続していきます。(間違えて違う色に接続しないように気をつけてください。)
11. 21PカプラーをECUに接続して元に戻します。この時、F.I.B. PRO 本体を雨など水がかかりにくい場所に設置してください。
12. F.I.B. PRO 本体のDIPスイッチの設定を確認して、正常に動作するかの確認をしてください。
PGM-FI警告灯が点滅した場合には、カプラーの抜けやギボシ端子の接続不良などが考えられますので再度確認をしてください。
また、サービスマニュアルを見てチェックをしてみてください。
それでも、異常が直らない場合には一度ノーマル状態に戻してから、チェックをしてください。
- 《ノーマル状態にもどすには》
F.I.B. PRO 本体から出ている6Pカプラーと《赤》《黒》線を取り外します。
《灰》《白》線と繋がっている《桃 / 緑》線をそれぞれ外して、《桃 / 緑》線同士を繋ぎ直します。
13. 正常に動作したら、外装を元通りに戻して完成です。

○燃料マップの変更について

DIPスイッチのNo. 1～4を動かすことで燃料マップの変更ができます。
下記のようにスイッチを動かしたときに、それぞれのマップに変更されます。

《MAP1》・・・DIPスイッチNo. 1のみオンにする。

回転リミッター：9500rpm

125ccノーマル+弊社製カムシャフト装着

《MAP2》・・・DIPスイッチNo. 2のみオンにする。

回転リミッター：9500rpm

125ccノーマル+弊社製マフラー、カムシャフト装着

《MAP3》・・・DIPスイッチNo. 3のみオンにする。

回転リミッター：9500rpm

弊社製170ccボアアップKIT装着

《MAP4》・・・DIPスイッチNo. 4のみオンにする。

回転リミッター：9500rpm

弊社製170ccボアアップKIT+カムシャフト装着

《MAP5》・・・DIPスイッチNo. 1及びNo. 4をオンにする。

回転リミッター：9500rpm

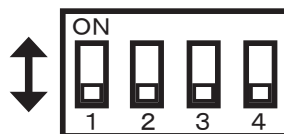
弊社製170ccボアアップKIT+カムシャフト+弊社製マフラー装着

《Original》・・・DIPスイッチをすべてオンにする。

ユーザーによるマニュアル設定マップ領域



イグニッションをONにする前に結線箇所を今一度確認してください。結線ミスがあった状態でエンジンをかけると本商品およびPGM-FIの故障の原因になりますのでご注意ください。



	Switch No.			
	1	2	3	4
MAP1	●			
MAP2		●		
MAP3			●	
MAP4				●
MAP5	●			●
Original	●	●	●	●

● Switch ON

※ 上記に設定の無い組み合わせを選択した場合は、MAP1となります。また、Originalにユーザー設定マップが存在しないのにOriginalを設定した場合には、MAP5の設定になります。

《Original》マップのマニュアル設定について

F.I.B. PRO 本体にPC接続ケーブル（別売：税込8820円）を取り付けてパソコンに接続します。ソフトを実行して、マップ編集を行います。編集が終わったら元通りに組み付ければ完了です。（詳しくはソフトと同梱してある説明書をお読みください。）

※マップ編集ソフトは弊社HPからダウンロードできますので、そちらから入手してください。

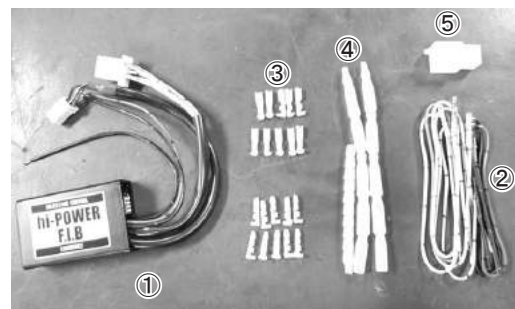
注 意

1. 本商品に同梱されている部品の確認をしてから、商品の取り付けをお願いします。
2. 取り付け・調整が終わりましたら、各部のボルト・ナットの締め忘れが無いようにご確認をしてください。

○商品内容について

	部品名	個数	部品番号
1	hi-POWER F.I.B. PRO	1	-
2	ハーネスセット	1	-
3	ギボシ端子（オス・メス）	10セット	-
4	ギボシ端子用スリーブ	10セット	-
5	6Pカプラー（オス）	1	-
●	オプションパーツ（別売り）		
	PC接続ケーブル	1	32000-TOL-E01

※ F.I.B. 本体以外のギボシ端子などは単品出荷できませんので、紛失などにより必要な場合にはお客様の方で用意していただくことになりますのでご了承ください。



本商品はレース専用部品のため、一切の保証はお受けできませんのであらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス

〒350-0822 埼玉県川越市山田 1726 TEL049-222-7770 FAX049-226-1625

<http://www.endurance.co.jp/>

2019.01.08

取り付けについて

以下に記載されている項目は、本商品取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
図を参考に組み込んでください。本商品に含まれていない部品は、再度使用します。
再使用するパーツにキズ、ヘタリ、磨耗の劣化が著しい場合は新品と交換してください。

●必要な工具について

- カウルを外すときに使用する一般工具
- 電工ペンチ（ギボシ端子を取り付けるのに必要）
また、絶縁用ビニールテープなどを必要に応じて用意してください。

●取り付けの前に

- 車体を水平で安全な場所でセンタースタンドを立てた状態で車両を安定させます。
- 車体からカウル類を取り外して、ECUが取り外せる状態にします。（各車両のサービスマニュアルを参考。）
- メインスイッチを OFF にして、バッテリーのマイナス端子を外してから取り付け作業に入ります。

●取り付け（※カプラー配置図については別紙を参照のこと）

1. ECUに付いている33Pカプラーを取り外します。
2. 33Pカプラーの《桃 / 緑（16）》線をカットして、切断部にギボシ端子を圧着します。（図①参照）
また、本商品に付属している《灰》、《白》線も図①のようになるようにギボシ端子を圧着します。
3. 33Pカプラーの《黄（5）》線をカットして、切断部にギボシ端子を圧着します。
カットした《黄》線のうち、ECU側ではない方の線には付属の《橙》線とともにギボシ端子で圧着します。
4. 33Pカプラーの《白 / 青（22）》線をカットして、切断部にギボシ端子を圧着します。
カットした《白 / 青》線のうち、ECU側ではない方の線には付属の《青》線とともにギボシ端子で圧着します。
5. 33Pカプラーの《青 / 黄（12）》線をカットして、切断部にギボシ端子を圧着します。
カットした《青 / 黄》線のうち、ECU側ではない方の線には付属の《黄》線とともにギボシ端子で圧着します。
6. 33Pカプラーの《黒 / 青（1）》線をカットして、接続部にギボシ端子を圧着します。
カットした《黒 / 青》線のうち、ECU側ではない方の線には付属の《赤》線とともにギボシ端子で圧着します。
7. 33Pカプラーの《緑 / 黒（2）》線をカットして、カットした両方の《緑 / 黒》線には付属の《黒》線とともにギボシ端子で圧着します。



注意

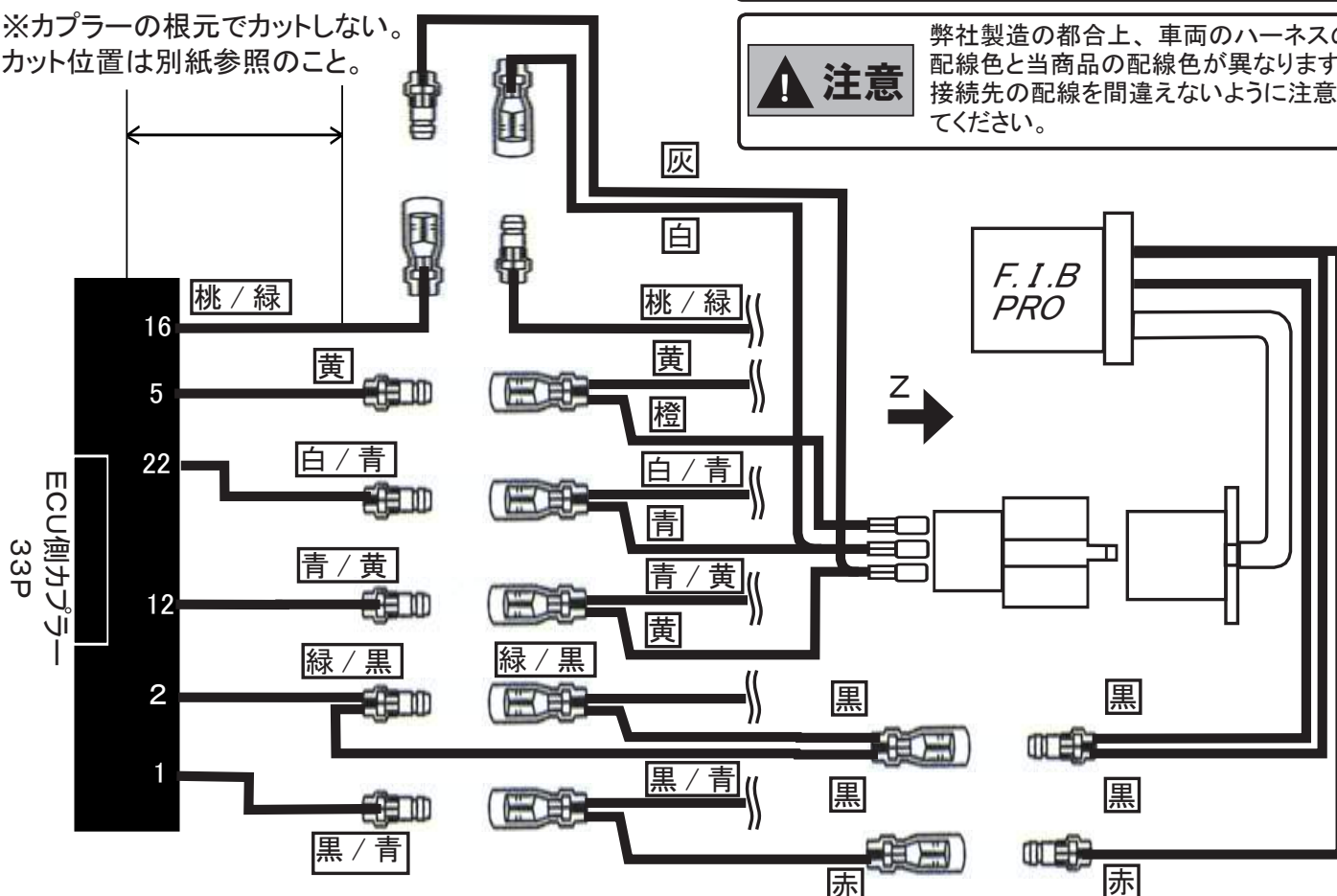
ギボシ端子は、電工ペンチなど適切な工具を用いて、確実に取り付けてください。



注意

弊社製造の都合上、車両のハーネスの配線色と当商品の配線色が異なります。接続先の配線を間違えないように注意してください。

※カプラーの根元でカットしない。
カット位置は別紙参照のこと。



【図①】

※注意※ FIB PROでのトラブル事例について

●お問合せをする前に

まずは、下記の事例に当て当てはまらないかどうかの確認をしてください。

①装着したら、エンジンがかからない。

→配線ミスの可能性があります。

- ・きちんと確認したつもりでも間違えた配線になっている場合があります。

《例》

- ・青 / 黄（22）に取り付けないといけないのに、黄 / 青（11）に取り付けてしまっている。
- ・黄（12）に取り付けないといけないのに、黄（30）に取り付けてしまっている。

※車両のサービスマニュアルを良く見て正しい位置に取り付けてください。

②途中でエンジンが止まった、またはかからなくなった。

→端子の取り付けがゆるんでしまっていないですか？

- ・端子の取り付けには必ず電工ペンチを使用して、リード線の皮膜に食い込ませるようにして圧着してください。
端子が食い込んでいないとリード線が緩んでしまい、端子から外れてしまう恐れがあります。

→端子の接合部が水によりショートしていないですか？

- ・端子の接合部には必ず付属のスリーブを取り付けて防水対策をしてください。
また、本体のDIPスイッチなど完全防水ではありませんので雨や洗車で水がかからない場所に取り付けを行ってください。

③エンジンの調子が明らかに悪い。

→強力なノイズを発生させる部品を取り付けていないですか？

- ・純正電装系においてのみ正常動作するので、純正以外のものを取り付けられた車両には動作保証はできません。
（プラグ、イグニッション、HID、スピーカーなど）
また、イグニッションコイルなどのノイズ発生源の近くに本体を配置しないでください。

→車両本体のハーネスを加工していないですか？

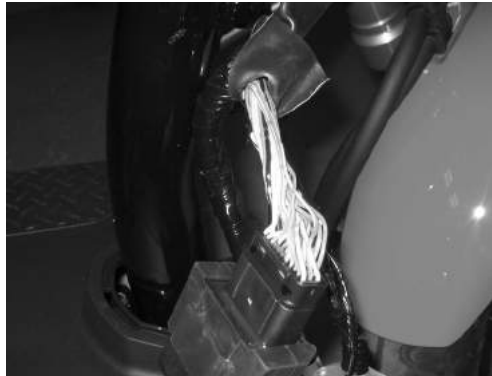
- ・FIB PROは各センサーの信号を拾って作動しています。
配線図通りに接続してもバッテリーのマイナス端子とフレーム間に導通がないと、信号が正常に伝達しない、
もしくは、間違った信号を伝達してしまいます。

**※上記の事例に当てはまらないトラブルが起こってしまった場合には、
FIB PRO本体に問題がある可能性もありますのでお手数ですが弊社までお問合せください。**

※注意※ 配線のカットする位置および設置位置について

●配線カットについて

ECU からの配線の長さが短いため、カットを間違えると取り付けが困難になります。
カットするには下図を参照してお取り付けください。

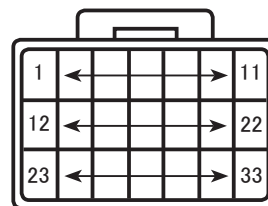


- 33Pカブラ
- ・桃 / 緑 (16)
 - ・黄 (5)
 - ・白 / 青 (22)
 - ・青 / 黄 (12)
 - ・緑 / 黒 (2)
 - ・黒 / 青 (1)

→右図のカプラー配置図を参照してください。

●カプラーの配置図

下図を参照して配線カットをしてください。

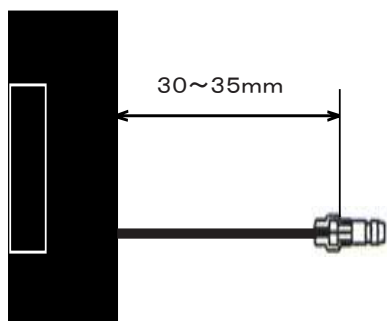


※ハーネス側から見た ECU カプラー配置図

●設置について（参考）※GROMの場合

設置するには下図を参照してお取り付けください。

※あくまでも参考ですので、ご自身でベストだと思われる位置に設置していただいて構いません。



①最初にカブラ側から配線加工します。

それぞれ、カブラから30～35mmの位置でカットしてギボシを圧着します。



配線加工が終わったら、右図のようにまとめてタイラップでメインハーネスとともに固定します。

また、圧着部にはビニールテープでメインハーネスとともに配線テープでぐるぐる巻きにしておきます。



右図のようにフレームにタイラップで固定します。
タイラップで固定して落ちないようにします。